

科 目 名
<b>選択外国語 II</b>
<b>Selective Foreign Language II</b>
<b>(韓国語)</b>

3年 後期 2単位 選択

申 明 直

## 概 要

「韓国語 II」では、「韓国語 I」で覚えた「ハングル文字」を利用し、簡単な生活会話を学ぶ。インターネットによる韓国関連の情報検索を行う。韓国の歌などの文化を通して韓国語を楽しく学ぶ。

## 目 標

- (1) 韓国語での自己紹介、時間や道を尋ねたりするなどの生活会話を学ぶ。
- (2) 韓国語の疑問・否定・敬語・過去の表現を学ぶ。
- (3) 韓国語でインターネット検索キーワードを入力し、韓国関連情報を調べる練習をする。

## 授業計画

テ ー マ	内 容
(1) 2部第4課（文型）	「～ます」の韓国語表現
(2) 2部第4課（会話）	助詞（～に/～を/～と）と会話
(3) 2部第5課（文型）	固有数字・時刻の韓国語表現
(4) 2部第5課（会話）	韓国語の否定文表現と会話
(5) 2部第6課（文型）	「あります/ありません」の韓国語表現
(6) 2部第6課（会話）	数詞と位置に関する表現と会話
(7) 総合練習・中間テスト	
(8) 2部第7課（文型）	「柔らかい敬語」の表現
(9) 2部第7課（会話）	助詞（～で）・「変則1」と会話
(10) 2部第8課（文型）	助詞（～に/～から）・過去形表現
(11) 2部第8課（会話）	「変則2」・「母音脱落」と会話
(12) 2部第9課（文型）	「尊敬形」の表現
(13) 2部第9課（会話）	「子音脱落」と会話
(14) 総合練習	

## 評価方法

宿題、出席、中間及び期末テストの成績を通じて総合的に判断する。

## 教 材

テキストは金東漢・張銀英（共著）『改正版 韓国語レッスン初級I』スリーエーネットワークを使い、参考書は油谷幸利『朝鮮語入門』ひつじ書房、辞書は油谷幸利 他編『朝鮮語辞典』小学館（あるいは電子辞書）が好ましい。テキストの別売 CD も参考にしてほしい。

## 履修上の注意

テキストと共に関連 CD をよく聞いて CD と同じように言えるまで復習してもらいたい。韓国語の多様な表現を学ぶためには、韓国の歌や映画などを通して自然に韓国語の文型を慣れるようにすることがいい方法である。